

○松下議長 7番、山本重信議員、発言席から一問一答方式で質問を願います。

山本重信議員。

○山本議員 7番、山本重信です。議長の許可を得ましたので、3点について質問をいたします。

まず、1点目、高齢者福祉について質問をします。

高齢者の福祉施策として、各市町村それぞれ独自の施策を講じられています。また、高齢者の方たち自身でも独自の努力をされています。市では、お年寄りが元気で長生きできる施策が強く求められています。他の市町村の対策としてユニークな方法を紹介します。

まず、家の中に閉じこもり運動機能が低下し、介護の世話になっていると思われる施策として、お年寄りが興味を持ち、みずから自分の意志で出かけたいと思える施策を講じられている方法として、1つには、カジノや麻雀教室、喫茶サロン等の運営をして、高齢者自身のみずから行きたい、また、お友達に会いたい等の理由により、閉じこもりを防止し、高齢者の方たちに外出する機会をつくり成功している事例等があります。

ある市では、これらの積極的施策により、平成23年度実績で介護保険利用者が全国平均で17.45%とのところ、10.2%の実績を上げられ、実に7%以上向上の実績を上げられています。最近では、閉じこもり防止策として、多くの市町村で高齢者の方たちの要望の多いパークゴルフ場を整備し、お年寄りがみずから行きたいと思える環境を整備し、対策を講じられ成功した事例も報告されております。

次に、県でも健康推進室制度を取り入れるそうです。岩出市でも考えるべきだと思いますが、いかがでしょうか。

そこで質問です。

1点目、高齢者の方たちの元気で長生きできる施策として、屋外を利用する方法や施策として、パークゴルフ場の新設や他の施策をお考えなのか、お聞きをします。

2点目、県では、長野県で実施し、成果を上げられている健康推進員制度を取り入れるそうですが、岩出市の取り組みはあるのか、お聞きします。

以上、2点です。

○松下議長 ただいまの1番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

生活福祉部長。

○杉原生活福祉部長 山本議員の一般質問1番目の高齢者福祉についてお答えします。

1点目の高齢者の元気で長生きのための屋外を利用する施策として、パークゴル

フ場の新設や他の施策をお考えなのかについてでございますが、元気で長生きするためには、適度な運動や栄養バランスがとれた食習慣、規則正しい生活習慣を身につけることが大切であります。市では、住みなれた地域でいつまでも生き生きと過ごせるよう、各種検診や健康講座等さまざまな保健事業を初め、介護保険事業においては、運動機能の向上を図るシニアエクササイズ等、各種介護予防教室を実施しているところであります。

また、仲間づくりや生きがいづくりの取り組みとしましては、ふれあい学級や各種文化教室を開催するなど生涯学習の推進に努めているところであり、それ以外には、高齢者の働く場や社会参加を促進するため、社会福祉協議会や老人クラブ、シルバー人材センター等に助成するなど地域社会の活性化に向けた支援を行っております。

議員ご提言のパークゴルフ場の新設についてであります。パークゴルフは最近人気のスポーツであり、競技人口も増加していることは認識しております。パークゴルフ場を新設する場合は、18ホールとして1万2,000平米以上の面積が望ましいとされており、駐車場などの周辺整備を含めれば約2万平米以上の広大な敷地が必要なことから厳しいものがあります。

他の施策につきましては、自分の健康は自分で守る観点から、まず、手軽にできるウォーキングやジョギングを日常生活に取り入れていただくだけでも、十分生活習慣病の予防にもなり、スポーツを行う場合の基礎体力づくりにもつながると思います。

また、現在、体育協会には既設の施設を利用し、屋外で活動するペタンクやグラウンドゴルフ、ゲートボール、テニスなどの競技団体があり、高齢者の方にも参加いただいております。

市といたしましては、現在、介護保険事業計画、高齢者福祉計画を策定しているところであり、当該計画作成委員等の意見を伺うなど、高齢者が住みなれた地域で生き生きと安心して暮らせる社会の実現に向け、引き続き、社会参加を促進する施策や生きがい、健康の維持増進につながる事業など高齢者施策の推進に努めてまいります。

続いて、2点目、県では、健康推進員制度を取り入れるそうだが、岩出市での取り組みの考えは、についてお答えします。

健康推進員は、県民の健康向上を図り、健康長寿日本一和歌山の実現に向け、市町村が実施する各種検診や健康教室等保健事業を支援する役割を担うもので、健康

づくり事業の推進役として平成26年6月に創設されたものであります。本市では、現在、母子保健推進員や食生活改善推進員のご協力をいただき、子育て支援や食生活改善推進活動を初め、健康推進員の主な活動の対象となる各種検診や健康教室等市民の健康づくりや保健事業を推進しているところであります。

また、今年度県が行う健康推進員養成講習会に両推進委員会から20名の推進員が受講を予定しており、次年度以降も計画的に講習を受けていただくなど、今回、県において創設された健康推進員としても活動していただける推進員の充実に努めるとともに、市民の健康意識の向上と自主的な健康づくり活動につなげられるよう、各推進員の資質の向上と活動強化を図ってまいりたいと考えております。

○松下議長 これでは山本重信議員の1番目の質問を終わります。

引き続きまして、2番目の質問をお願いいたします。

山本重信議員。

○山本議員 2点目の質問をいたしますが、先ほどから学力の調査の話がたくさん出てますので、重複する部分はもう答弁結構ですので、2点目、子どもたちの教育と安全対策について質問をします。

長崎県佐世保市で高校1年生による痛ましい事件が発生しました。新聞報道によりますと最愛のお母さんの死亡や、お父さんの再婚等々で、この女子児童、日ごろから問題が多く発生していたようです。小学校時代にクラスメイトの給食にベンジンや漂白剤を計4回も混入させています。被害に遭った生徒は体調を壊し、病院で手当を受けたと報告もされております。

また、市の幹部は、この混入事件を市の教育委員会や市議会に報告しなかったと明らかにしております。その理由として、担当者レベルで対応できると判断したと説明しています。

また、精神科医の診断ですと、この生徒、小学生時代に薬物混入事件を起こし不登校となり、中学生時代には父親を野球のバットで殴打し、実母まで殺害しかけたと話しているそうです。また、猫の解剖をしたりし、精神科医は、このままいけば人を殺しかねないと、匿名で県福祉保健部に通報しておりました。担当者によると、匿名のため特定できず放置したとされております。

この生徒、人を殺し、解剖してみたかったと話しているそうです。私が思いますのに、子どもは明らかに病気です。問題が発生し始めた小学生時代入院等で適切に対応されていれば、今回の事件は未然に防止できたような気がします。子どもの将来にも明るさが見えたのではないのでしょうか。親御さんによると、病気のため病

院に入院させたかったが、入院を断られたということです。岩出市では、このような事例の対応策は考えられているのでしょうか。

次に、朝日新聞に居所のつかめない子どもが、全国で1,588人いると報道されています。私の知り合いの子ども家があるのに最近姿を見かけません。気になっています。岩出市では居所の不明な子どもがいるのかどうか、お聞きをいたします。

続きまして、8月25日の新聞で全国学力調査結果が発表されました。和歌山県下の子どもたちの成績を見て、県教育委員会は危機的状況と新聞報道されていますが、私は、順位はともかくとして、点数の底上げができて、逆によく頑張ってるなど理解をしております。全国での総合順位は下がっていますが、全国平均点からいずれも科目も2から3ポイント低い点数で推移しており、少し頑張れば手の届く範囲だと考えます。

今まで成績を公表しなかった理由として、成績を公表すると学校を序列化される危険があるからだと言われますが、でも、よく考えてみてください。世の中に出ると全て生き残りをかけた競争社会です。これらに対応できない子どもたちが不登校となり、大人になってもひきこもり生活をしているのではないのでしょうか。現在の競争社会に対応できる子どもの教育には、学力公表が必要だと考えます。岩出市の学校別の学力公表をするべきだと考えますので、お考えを聞かせてください。

そこで質問です。

1点目、長崎の女子生徒の問題に対して、教育長はどのような見解をお持ちなのか。

2点目、今回の事件、岩出市としてどのような具体的な対策をお持ちなのか。また、再発防止策を聞かせてください。

3点目、所在不明の子どもが全国で1,588人います。和歌山県下では2名ですが、岩出市に該当する子どもはいるのか、聞かせてください。

4点目、子どもたちが現在の競争社会に対応できるようにする教育には、学力公表をするべきだと考えます。公表内容を詳しく、公表に至った経過・公表する狙い等々を聞かせてください。

以上です。

○松下議長 ただいまの2番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育長。

○平松教育長 山本議員ご質問の2番目、子どもたちの教育と安全対策についてのま  
ず、1点目、教育長の見解と2点目の具体的な施策、再発防止策について、一括し

てお答えさせていただきます。

ことしの7月14日に長崎県佐世保市で公立高校に通う女子生徒が同級生の女子生徒に殺害されるという事件が発生いたしましたことは、本当にまことに痛ましく、大変胸の痛む思いをいたしております。長崎県の佐世保市においては、10年前にも小学6年生の女子児童が、同級生に殺害されるという痛ましい事件が発生しており、長崎県では、この事件の反省のもとに、命を大切にすることを育む教育に熱心かつ先進的に取り組まれてきた経過がありますが、今回同様の事件が発生したことに、全国の教育関係者はもとより社会全体が大きな衝撃を受けているものとして、重たく受けとめてございます。

私といたしましても、今回の事件を決して対岸の火事とすることなく、本市でも発生するかもしれないという危機感を持って、今後、特に児童生徒の心の問題など、本市教育の生徒指導のあり方について考えてまいりたいと考えております。

次に、施策についてであります。本市でもこの事件を受けるまでもなく、命を大切にすることを育む教育、心を育む教育は、学校教育活動の根幹にあるものとして、各教科の授業や道徳はもとより学級活動、児童会、生徒会活動、学校行事等の特別活動などあらゆる教育活動を通じて、ふだんから取り組んでいるところです。

さらに、心の問題などの課題を抱える児童生徒への対応については、全ての教員がカウンセリングマインドを持ち、アンテナを高くして、個々の児童生徒の状況を把握するとともに、日ごろから保護者との連絡を密にするよう努めております。

また、個別の対応が必要な場合は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、市教育委員会、学校と医療機関を含む関係機関が積極的に連携してケース会議を行うなどしているため、深刻な事態につきましては、積極的に医療機関等につないでまいります。

しかし、これらの連携等の取り組みだけでは、子どもの心の奥の問題や家庭の状況がつかみきれない場合もあることから、今後、さらなる関係機関との連携強化に努めてまいります。気になる子どもの状況がありましたら、ご連絡いただくなど地域の皆様への協力も呼びかけてまいりたいと思います。

次に、3点目の所在不明児童につきましては、現在、本市では、議員ご指摘のような所在不明の児童生徒はおりません。

次に、4点目の学力テストの公表についてお答えさせていただきます。

先ほどからありますので、省ける部分は省いてということではありますが、全国学力・学習状況の結果の公表につきましては、先ほどからお答えしておりますように、

市全体の学力の状況や生活の状況について、全国平均と比べた特徴的な概要や今後の対策をあわせて公表することにしております。

また、学校名を明らかにした各学校の個別の状況については、公表しないということにしております。また、各学校の状況につきましては、それぞれの学校において市と同様の内容で公表することにしております。

今回、市として初めて公表に至った経過やねらいについてでございますが、今回、実施要領が変更になったのを機に、市や学校のこれまでの取り組みや成果及び課題等を保護者や市民の皆様にお知らせするとともに、改善に向けて家庭や地域の皆様の理解や協力をお願いすることを狙いとしてございます。

○松下議長　これで山本重信議員の2番目の質問を終わります。

引き続きまして、3番目の質問をお願いします。

山本重信議員。

○山本議員　3点目、橋の安全対策についてお聞きします。

広島市の土石流の災害で多くの人命が失われ、また、家屋の損傷も甚大となっております。ここに砂防ダムがあれば、また、早目の避難指示があれば等々考えます。被災された方々にはお悔やみを申し上げます。以前、質問しました他府県との災害協定を早く結び、有事の際にはともに助け合うべきだと申し上げてきましたが、今回の災害よい機会ですので、助け合いながら協定を結ばれるべきだと思っております。

話を本題に戻します。

この写真を見てください。総合体育館前の川に誰がつくられたのかわかりませんが、場所的には中迫近郊の農家の方がつくられたかと思いますが、古い老朽化した幅1メートルにも満たない細い橋がかかっています。昔、農作業時に通行した橋だと思いますが、この橋渡ってみますと、中央付近で大きく上下にバウンドして揺れて、今にも落下しそうです。橋の両側には赤い「そうへいちゃん」が川の両側に頑張っておりますが、危険表示しておりますが、下部の鉄板も腐食していると考えられます。早急な撤去も含めた対策が必要だと考えます。答弁をよろしく願いいたします。

○松下議長　答弁を求めます。

事業部長。

○北村事業部長　山本議員ご質問の3番目、橋の安全対策についてお答えいたします。

議員ご指摘の橋は、山田川にかかる落合橋で、山田川の河川改修時に木橋から現

在の橋にかけかえられたもので、中迫地区から荊本地区への必要な道路であるとともに、農作業用にも利用されています。落合橋については、老朽化が進んでいたことから、昨年、河川管理者である県に対して、補強工事の要望を行っていました。加えて、今年度、中迫区から出された市政懇談会での意見を受け、再度、県に要望したところ、補強については現地調査の上、対策を検討していくとの回答をいただいております。対策後は、岩出市で管理してまいります。

また、このようにかかけかえられた橋はほかにもありますが、どの橋も現在のところ危険な状態ではないと伺っています。

なお、市管理橋については、幹線及び橋長15メートル以上の耐震化、長寿命化の点検業務を既に行ったところではありますが、そのほかの橋梁につきましても、近接目視による点検を行ってまいります。

○松下議長　これで山本重信議員の3番目の質問を終わります。

以上で山本重信議員の一般質問を終わります。